

平成 2 5 年度事業報告

自 平成 2 5 年 4 月 1 日
至 平成 2 6 年 3 月 3 1 日

平成25年 4 月 1 日に「一般社団法人（非営利型）」へ移行したことに伴い、会の運営や事業活動に対して自主性・公益性・透明性がより強く求められることとなった。

平成25年度の事業については、事業計画に掲げた「基本原則」に則り、会員企業の恒久的、安定的かつ健全な繁栄に資するため、事業活動の効率化・組織体制の強化を図り「会員にとってより魅力ある法人会」を志向して事業の改善に努めた。

また、法人会本来の「税に関する事業」については、前橋税務署並びに税理士会をはじめとする税務協力団体との連携のもと、税務行政の円滑な運営に協力することを目的に会員・役員企業に対する e - T a x ・ e L T A X 利用促進 P R 事業を行ったほか、様々な事業を積極的に展開した。

主な事業の概要は以下の通り。

公益事業

1 . 税務支援事業

前橋税務署ほか関係団体との連携のもと、「e - T a x ・ e L T A X 研修会」「決算説明会」「新設法人説明会」「特別研修会」など、一般の方をも対象とする各種税務研修会を開催したほか、会報「法人まえばし」による最新の税務情報の提供、「平成25年度税制改正のあらまし」等の税務に関する小冊子の配付など、様々な事業を行った。

2 . 税の啓発・提言事業

税制改正に関する提言活動

会員から寄せられた税に対する意見・要望を取りまとめ「平成26年度税制改正に関する提言」を作成。税制委員により、地方自治体・地元選出国會議員への要望活動を実施した。

租税教室の開催

1 月30日、飯島徹青年部会税制副委員長を講師に、前橋市立天神小学校 6 年生児童 44 名を対象に租税教室を開催した。

税に関する高校生の作文の審査選考への協力

国税庁主催による「税に関する高校生の作文」の優秀作選考審査に当会の広報委員、青年・女性部会員計 6 名が参加。合わせて「前橋法人会会長賞（6 編）」の提供を行い優秀作の表彰を行った。

e - T a x ・ e L T A X 研修会の開催

12月10・11日、税務関係団体との共催により「e - T a x ・ e L T A X 研修会」を開催。前橋税務署・群馬県・前橋市からの講師派遣を受け 2 日間 4 講座の研修に 40 名が受講した。

3．経営支援事業

「特別研修会」「部会別研修会」など、弁護士・社会保険労務士等の専門家を講師に経営全般に役立つ実践的な内容の研修会を開催したほか、「セミナーオンデマンドサービス」やホームページによる情報発信など、経営支援情報の提供を目的に各種事業を実施した。

4．地域社会貢献事業

東日本大震災の被災者支援

5月26日、川淵第2部会の社会貢献活動として、東日本大震災で被災して結婚式を挙げられなかったカップルを対象に、敷島公園内のばら園にて「ばら園結婚式」を開催。多数の一般市民が参加した。

講演会の開催

5月22日、前橋商工会議所会館において、読売新聞東京本社社会部記者本田麻由美氏を講師に「乳がんになって考えたこと ～自身の体験と日本のがん対策～」をテーマとする講演会を開催。100名が出席した。

共益事業

5．会員支援事業

本会・女性部会・青年部会・地区地域部会を中心に、異業種交流・会員相互の親睦を目的とする各種研修会・協議会等を開催したほか、会員企業の従業員顕彰を目的とする「優良経理担当者表彰式」を通常総会時に実施した。

6．会員維持・拡大事業

組織の強化と法人会活動の安定的運営を目的として、本会・部会役員が中心となり「会員増強運動」に取り組んだ。10～12月を特別強化期間として、新設法人への個別訪問等により、新規入会28社の実績を上げることが出来たが、厳しい経済環境を反映して退会する会員も多く、3月末会員数は2,763社（去年同期比▲111社）・加入率41.5%（去年同期比▲1.2%）との結果となった。

7．厚生制度推進事業

会員企業の安定的な経営と経営者個人の保障を目的として、厚生委員会と受託会社が協働にて「法人会福利厚生制度」を積極的に推進した。

また、会員企業の経営者・従業員の健康管理を目的に「生活習慣病健診（2/9）」を実施。41名が受診した。

その他

8．新法人への移行

新法人への移行に伴い、4月25日開催の理事会において、「諸規定の改定案」を審議の上承認した。

また、9月11日及び3月13日開催の理事会において、「代表理事及び業務執行理事の職務執行状況の報告」が行われ、審議の上承認された。